

2017年2月17日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団  
理事長 喜多悦子 殿

2016年度地域啓発活動助成

## 活 動 報 告 書

活 動 課 題

がん患者及びその家族に対する緩和ケアの普及・啓蒙活動

---

活動団体名：独立行政法人 労働者健康安全機構 北海道中央労災病院

活動者（助成申請者）名：是廣由美子

## I. 活動の目的

地域住民へ「がんになっても自分らしく暮らしていく」ことを支える方法に、緩和ケアがあることを周知し、普及していく。

## II. 活動の内容・実施経過

外部講師招聘による緩和ケア市民公開講座の開催

開催日 平成28年11月27日(日)

開催時間 14:00～15:30(開場13:00 閉場16:00)

開催場所 岩見沢市生涯学習センター いわなび

開催内容 1. 緩和ケア市民公開講座

「がんと向き合い自分らしく生きる

～がんと共に生きるために、そしてがんになった家族を支えるために～」

講師 上村恵一先生(市立札幌病院精神医療センター副医長)

2. がん及び緩和ケアに関する相談コーナーの設置(公開講座前後での相談)

相談担当は、緩和ケア認定看護師3名(岩見沢市、美唄市、江別市)

3. がん及び緩和ケアに関する情報コーナーの設置(公開講座前後での閲覧)

1) 近隣の緩和ケア病棟(6カ所)、訪問看護ステーション(4カ所)の紹介

2) 当院のがんサロンの紹介(南空知圏内の他のサロン2カ所も情報提供)

3) がんに関する書籍(7冊)及び冊子(30種)、治療中の食事の工夫のリーフレット(5種)の紹介(書籍は展示、冊子及びリーフレットは持ち帰り可)

4) 治療就労両立支援センターの活動を紹介(ポスター展示)

5) 薬剤、ケア等に関する情報コーナーの設置(3社の企業ブース)

麻薬やがんに関するパンフレット、口腔ケア物品の紹介と体験、がん患者及び家族の描いた絵画の展示

4. 講演終了後にアンケート記入し、出口で回収

実施経過 開催に至るまでの企画・運営会議を通算11回行い、講師及び開催日決定までに、やや時間を要した。展示の配置、相談コーナーのレイアウトなど会場の下見や打合せは念入りに行った。新聞の折り込み広告、市内の公共施設や院外薬局等でのポスター掲示の協力依頼など広報に尽力した。展示協力依頼先との連絡調整、展示物の準備、公開講座開催当日の会場設営を行った。講師の許可を得て、講演スライドのハンドアウトを資料として配布し、講演の内容をビデオ撮影で記録した。講演終了後アンケートを実施、後日集計し施設内への結果報告を行った。

## III. 活動の成果

1. 講座参加者は約70名、アンケート回収は55名。講演内容と展示及び催事に関する設問は4択で、講演に対する満足度がほぼ90%以上と非常に高かった。「とても参考になった」「興味をもて理解できた」「心のケアの大切さがわかった気がする」「今まで知らなかった事などよく理解できた」「大変良かった。今後も開講してほしい」など、18名より感想が寄せられた。詳細データは別添【資料

②】参照。公開講座の開催の様子は、地方紙で紹介された。(別添【資料①-1】参照)

2. 相談コーナーの利用は1件で、相談内容は、今後の療養先に関するもので、相談者の立場は家族だった。緩和ケア病棟や社会資源サービスの紹介、患者本人の気持ちの確認について説明を行った。

3. がん情報展示コーナーでは、患者向けのがん腫別パンフレット、医療用麻薬及び痛みのセルフケアに関するパンフレット、口腔ケア用品の紹介とデモンストレーション、がん患者及び家族の制作作品の展示などを行い、延べ40名ほどの来場があった。(別添【資料①-2】参照)

4. がん及び緩和ケアの情報コーナーでは、講演前後の時間を使って、まばらではあったが、テーマごとの掲示物を閲覧している人は途切れなかった。30種類のがんの冊子は総数300部準備し134部、5種類の治療中の食事の工夫のリーフレットは総数100部準備し48部の利用があった。

がんサロンに設置しているがんに関する書籍の中から7冊を選択し、紹介した。気になった書籍の情報を持ち帰れるように作成した図書カードは、各10部ずつ準備し総数70部中38部の利用があった。(別添【資料①-2】参照)

5. 患者家族を含む市民が少しでも情報にアクセスできる支援を行うためには、情報提供を行う側である医療職の意識・知識・技術向上が必要であり、記録した講演映像と講義スライドのハンドアウト用資料は、院内LANを使用し、当職員が視聴・閲覧できるように環境を整備した。

(別添【資料①-2】参照)

#### IV. 今後の課題

新聞記事の掲載、新聞の折り込み広告や、市内の公共施設へのポスター掲示、近隣の医療・介護施設、院外薬局、訪問看護ステーション等への案内の送付等周知を図り、定員100名としていたが、予定したほど参加人数は伸びなかった。要因の一つには、当院が定期的に行っている「市民公開講座」と、今回の「緩和ケア市民公開講座」の表現が類似しており、参加者の中からも「いつもやっている公開講座だよ」という発言が聞かれたことで、圏域では初めて取り上げるテーマであるという特性を充分アピールできなかった。地域住民への情報発信方法は今後の課題である。

持ち帰りされた冊子類では、疾患に関する内容よりも、副作用対策やオピオイド関連、緩和ケア、コミュニケーション、在宅で受かれる生活支援サービスといった内容のものが多かった。また、緩和ケア病棟紹介の展示を見ていた市民の一人が「これって、ようは延命をすところってことでしょ？」と話している場面も見かけた。地域内で提供可能な緩和ケアのリソースに関する情報不足があり、緩和ケアに対する地域住民の認知度はまだまだ低いため、今後も継続した市民への情報提供と啓蒙活動が必要である。「がんになっても自分らしく暮らしていく」ことを支えていける地域づくりの一端を担っていきたい。

#### V. 活動の成果等の公表予定

無し

緩和ケア市民公開講座 「がんと向き合い自分らしく生きる」

1. 地域への広報活動

<作成したポスター>

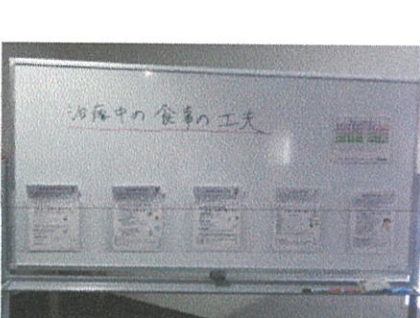
<開催前の新聞記事(2社)>

<開催後の新聞記事(1社)>

<当院で地域に向けて 定期的に発行している広報紙>

## 2. 公開講座の様子

【資料①-2】

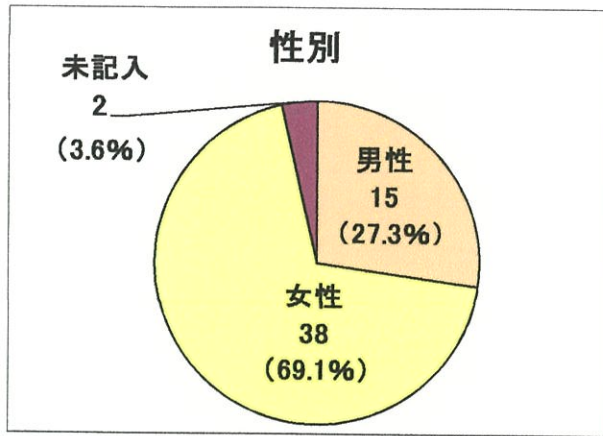


# 緩和ケア市民公開講座アンケート集計結果

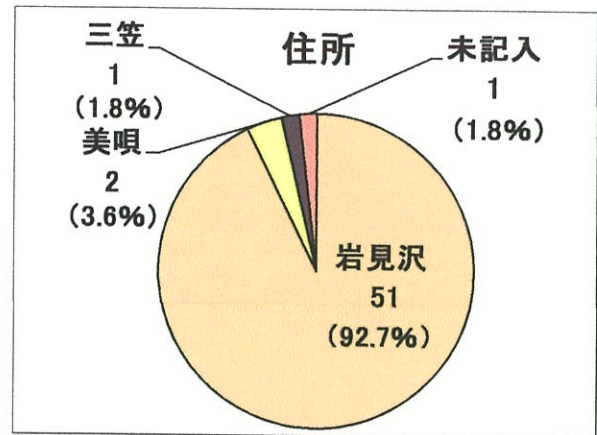
【資料②】

平成28年11月27日(日) 回答: 55名

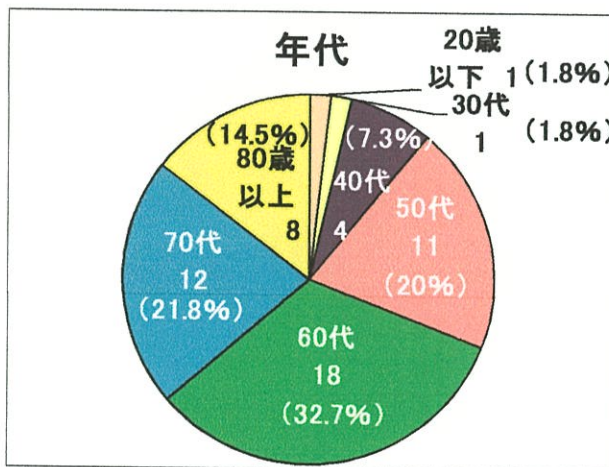
## ●参加者の属性



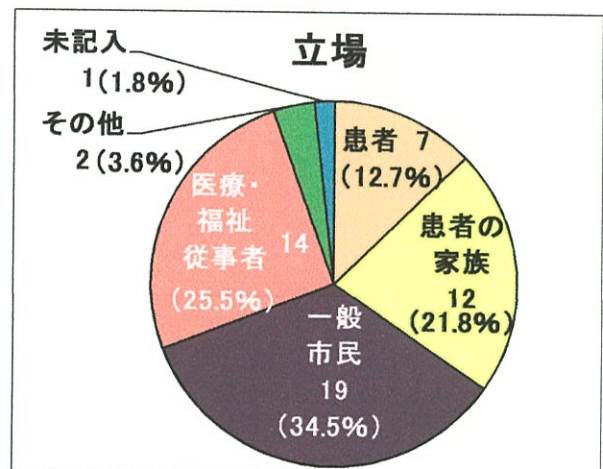
項目	回答数	回答割合
性別		
男性	15	27.3%
女性	38	69.1%
未記入	2	3.6%



項目	回答数	回答割合
住所		
岩見沢	51	92.7%
美唄	2	3.6%
三笠	1	1.8%
栗山	0	0.0%
その他	0	0.0%
未記入	1	1.8%



項目	回答数	回答割合
年代		
20歳以下	1	1.8%
20代	0	0.0%
30代	1	1.8%
40代	4	7.3%
50代	11	20.0%
60代	18	32.7%
70代	12	21.8%
80歳以上	8	14.5%
未記入	0	0.0%

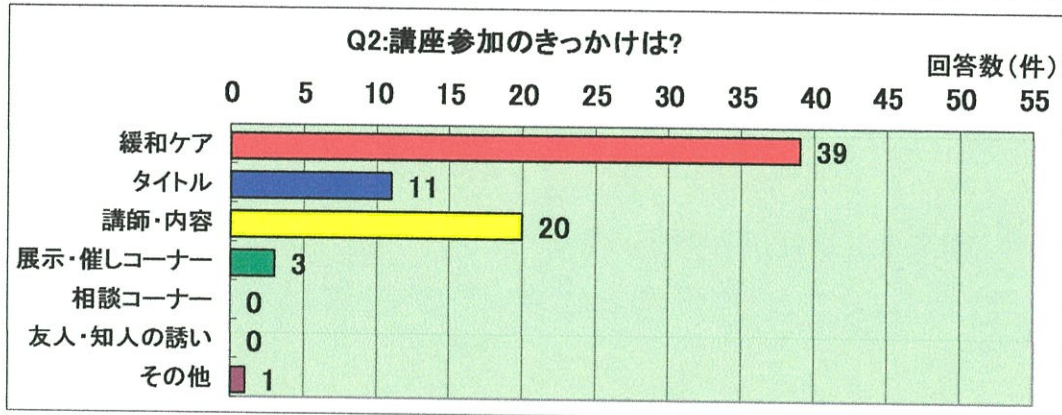
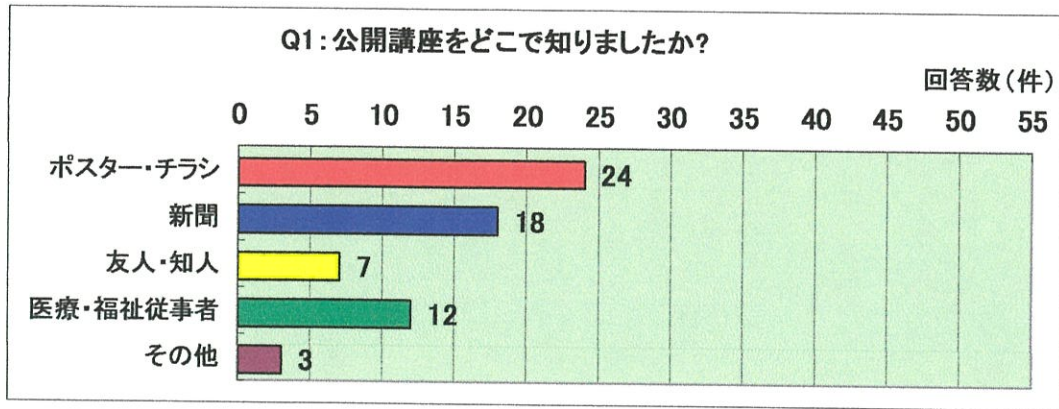


項目	回答数	回答割合
立場		
患者	7	12.7%
患者の家族	12	21.8%
一般市民	19	34.5%
医療・福祉従事者	14	25.5%
その他	2	3.6%
未記入	1	1.8%

# 緩和ケア市民公開講座アンケート集計結果

【資料②】

## ●各種質問事項

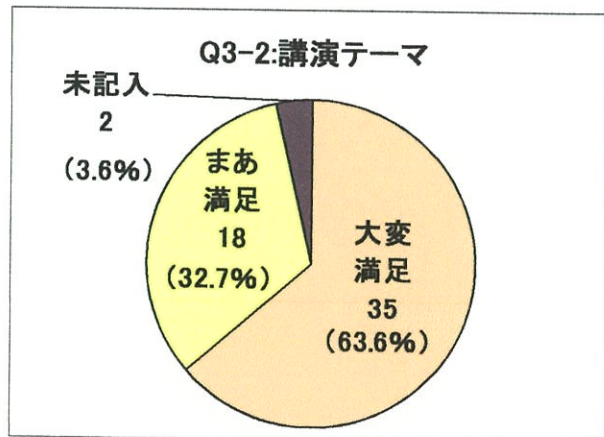
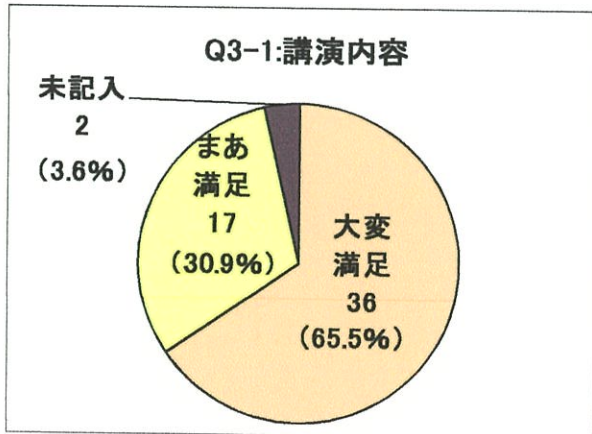


Q1: 公開講座をどこで知りましたか?(複数回答)

項目	回答数	割合
ポスター・チラシ	24	43.6%
新聞	18	32.7%
友人・知人	7	12.7%
医療・福祉従事者	12	21.8%
その他	3	5.5%

Q2: 公開講座に参加しようと思ったきっかけは?(複数回答)

項目	回答数	割合
緩和ケア	39	70.9%
タイトル	11	20.0%
講師・内容	20	36.4%
展示・催しコーナー	3	5.5%
相談コーナー	0	0.0%
友人・知人の誘い	0	0.0%
その他	1	1.8%



Q3-1: 公開講座の内容について(講演内容)

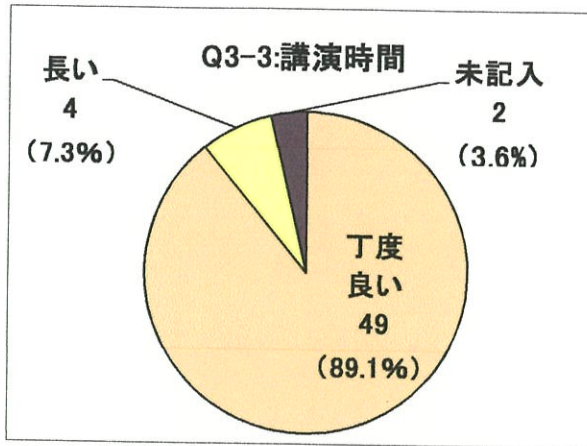
項目	回答数	割合
大変満足	36	65.5%
まあ満足	17	30.9%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
未記入	2	3.6%

Q3-2: 公開講座の内容について(講演テーマ)

項目	回答数	割合
大変満足	35	63.6%
まあ満足	18	32.7%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
未記入	2	3.6%

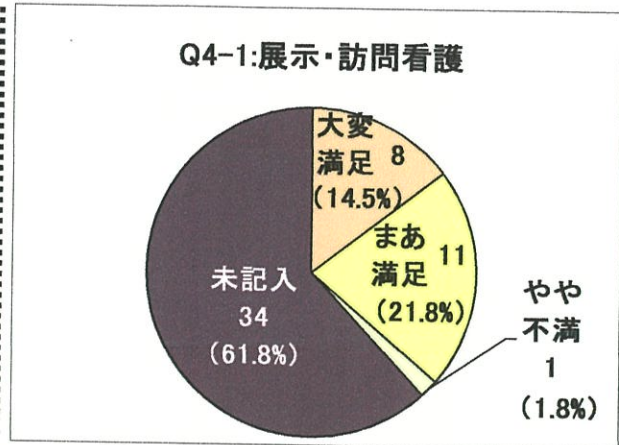
# 緩和ケア市民公開講座アンケート集計結果

【資料②】



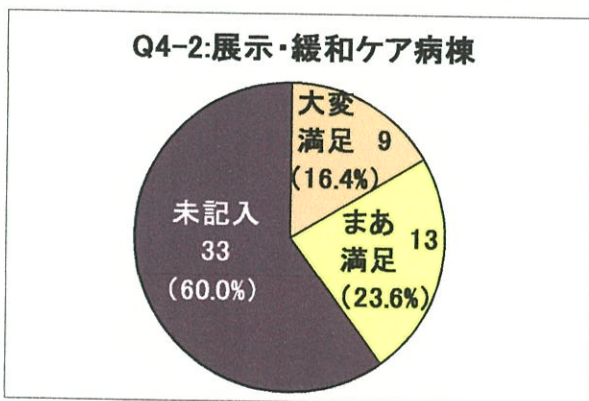
Q3-3: 公開講座の内容について(講演時間)

項目	回答数	割合
丁度良い	49	89.1%
長い	4	7.3%
短い	0	0.0%
未記入	2	3.6%



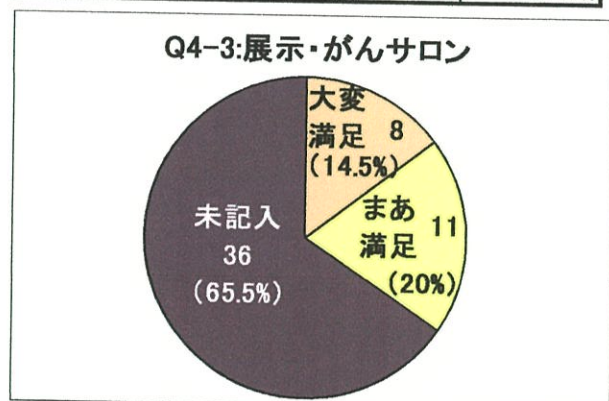
Q4-1: 展示・催しコーナーについて(訪問看護)

項目	回答数	割合
大変満足	8	14.5%
まあ満足	11	21.8%
やや不満	1	1.8%
不満	0	0.0%
未記入	34	61.8%



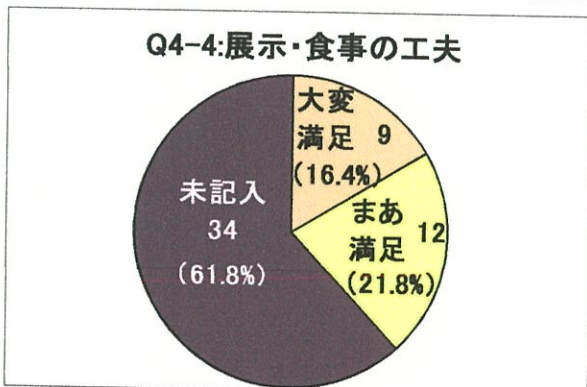
Q4-2: 展示・催しコーナーについて(緩和ケア病棟)

項目	回答数	割合
大変満足	9	16.4%
まあ満足	13	23.6%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
未記入	33	60.0%



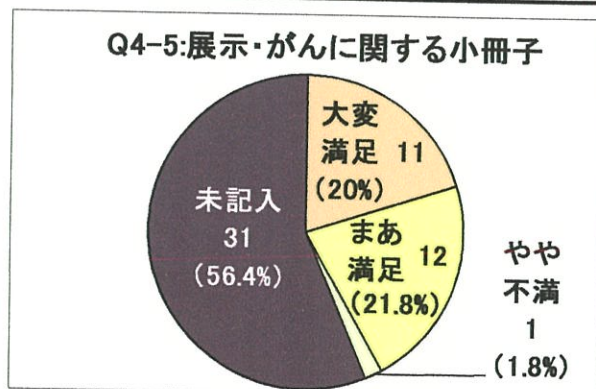
Q4-3: 展示・催しコーナーについて(がんサロン)

項目	回答数	割合
大変満足	8	14.5%
まあ満足	11	20%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
未記入	36	65.5%



Q4-4: 展示・催しコーナーについて(食事の工夫)

項目	回答数	割合
大変満足	9	16.4%
まあ満足	12	21.8%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
未記入	34	61.8%



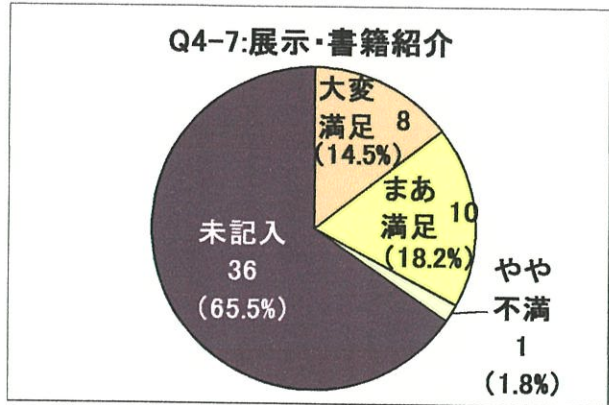
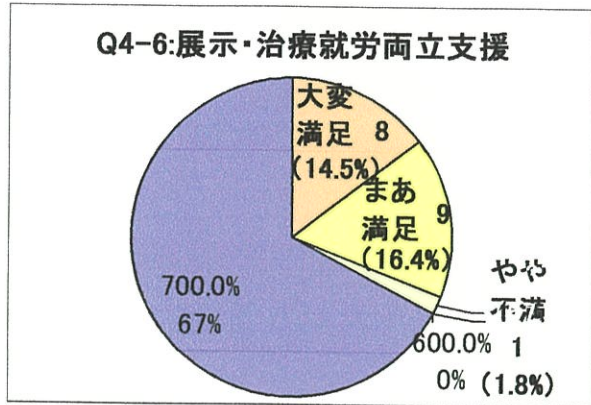
Q4-5: 展示・催しコーナーについて(がんに関する小冊子)

項目	回答数	割合
大変満足	11	20%
まあ満足	12	21.8%
やや不満	1	1.8%
不満	0	0.0%
未記入	31	56.4%



# 緩和ケア市民公開講座アンケート集計結果

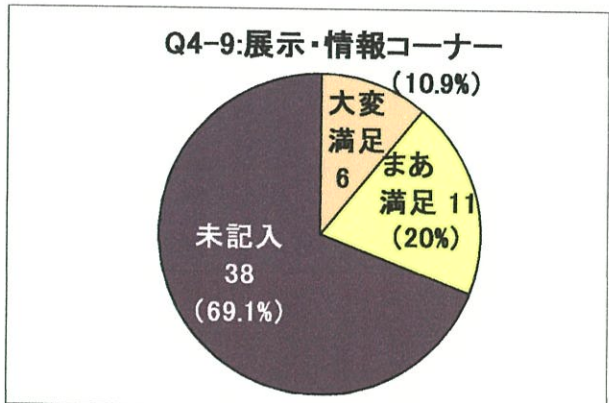
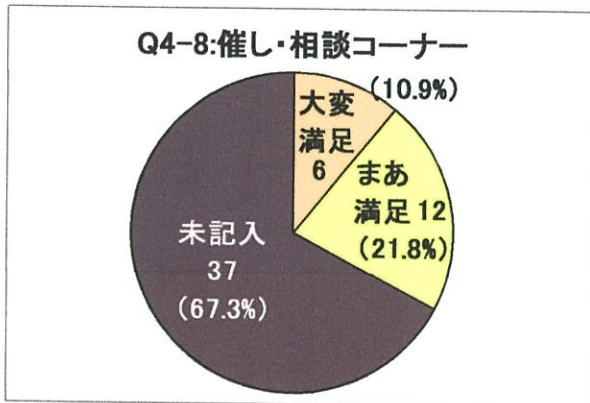
【資料②】



Q4-6: 展示・催しコーナーについて(治療就労両立支援) Q4-7: 展示・催しコーナーについて(書籍紹介)

項目	回答数	割合
大変満足	8	14.5%
まあ満足	9	16.4%
やや不満	1	1.8%
不満	0	0.0%
未記入	37	67.3%

項目	回答数	割合
大変満足	8	14.5%
まあ満足	10	18.2%
やや不満	1	1.8%
不満	0	0.0%
未記入	36	65.5%

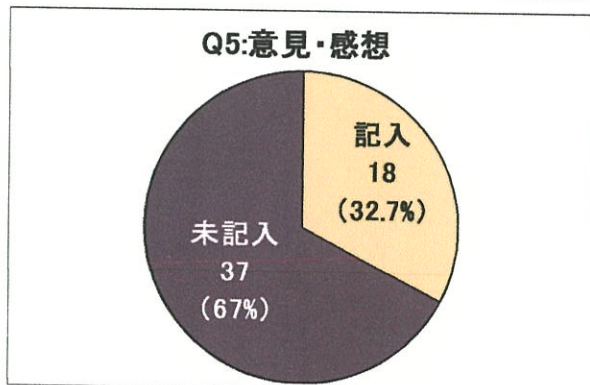


Q4-8: 展示・催しコーナーについて(相談コーナー)

Q4-9: 展示・催しコーナーについて(情報コーナー)

項目	回答数	割合
大変満足	6	10.9%
まあ満足	12	21.8%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
未記入	37	67.3%

項目	回答数	割合
大変満足	6	10.9%
まあ満足	11	20.0%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
未記入	38	69.1%



Q5: 意見・感想

項目	回答数	割合
記入	18	32.7%
未記入	37	67.3%

(意見詳細は別紙)

## 緩和ケア市民公開講座アンケート集計結果

【資料②】

Q5. 意見・感想	
1	がん患者に携わっている医師の方に聞いてほしいと思いました。
2	とても参考になりました。興味をもて理解できました。この講演に参加してよかった。ありがとうございました。
3	自分は無趣味と思っていたが、ドラマは本当によく撮りためて見えています。これもストレス緩和になっていると思うと、安心できました。
4	心のケアの大切さが分かった気がします。
5	参考になりました。
6	大変参考になりました。ありがとうございます。
7	今まで知らなかった事など良く理解できました。ありがとうございました。
8	現在病気になっていませんが、2人に1人がかかるといわれているがんに対して心がまえを、と思って参加しましたが、お話を聞いて色々参考になり、良かったと思います。ありがとうございました。
9	具体的事例を取り入れていただくと、より身近に感じられると考えます。
10	大変良かった。今後も開講してほしい。
11	自分でストレスの解消を見つける。(何かを書きとめる。自分の気持ちを。)
12	ストレスが一番考えさせられました。
13	とてもいいお話でした。
14	途中休憩があってもよい。室温低かった。
15	支えていく家族がどの様にかんになった本人と向き合っていけば良いか、又、家族の大変さを教えて頂き少し気持ちがほっとした。
16	精神の先生がこんなに楽しく話をして下さるとは思いませんでした。とても時間が短かったです。ありがとうございました。
17	大変わかりやすい説明で1時間半が短く感じるほどでした。がん患者だけでなく、認知症の家族を抱える人にも通じるお話でした。ありがとうございました。
18	10年前に膵臓がんで(主人を)見送りましたが、その当時の事が思い出され胸が苦しくなりました。7年たってやっと主人の時の事が薄らいで来ました。時間のおかげで心がおだやかになり、また仕事にも救われて現在があります。